

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年5月20日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.14】

## JR総連と東労組前委員長の党員名は...!

本間氏の証言で、革マル派が暴露してきたJR総連関係者の「秘密党員名」の存在が事実である可能性がきわめて高まった。前号で紹介した本間氏の証言は、以下の通り続く。

(被告代理人) 前回の法廷で、小田さん(注: JR総連前委員長)と石川さん(注: 東労組前委員長)という方が出廷されましたが、この方たちのペンネームというのは御存知ですか。

(本間氏) 小田さんは立花だと思います。

(代理人) 石川さんは、(本間氏) 石川さんは仁志だと思います。

(代理人) 石川さんの仁志というペンネームは、なぜそういう名前になったのか、御存知ですか。

(本間氏) 私の知っている限りでは、石川さんはジャイアンツのファンでして、仁志選手がジャイアンツにいた当時、仁志選手のファンだというふうに聞きましたんで、それで仁志というふうに付けたというふうに記憶しております。

(代理人) 改めて確認ですけれども、小田さんや石川さんがそういったペンネームを持っているということは、この二人とも革マル派のメンバーだということですか。(本間氏) そうです。

何と、JR総連前委員長の小田氏は「立花」、東労組前委員長の石川氏は「仁志」という秘密党員名を持つ革マル派メンバーだというのだ！小田氏は2月17日に行われた「週刊現代裁判」の証人尋問で、この件について、次のように証言している。

(被告代理人) そういった学習会(注: 解放」を読むような学習会)に参加するときのメンバーは、秘密保持のため、本名とは違う名前呼び合ってたということはあるですか。(小田氏) あるんじゃないですかね。もう大分前のことですから。

(代理人) あるかどうか覚えているでしょう。(小田氏) あるんでしょうね。

(代理人) 何というペンネームですか。(小田氏) 私ですか。

(代理人) はい。(小田氏) 私は忘れたんですが、先ほど主尋問で、坂入さんの件で告発をしました。この告発をしたことについて、革マル派は私は労働者階級の敵であると、階級敵であるというような記事がでた、その辺りにたしかうすら記憶しているんですけども、私の名前を先に言って...立花というふうに書かれた記憶があります。ですから、そういうふうに勉強会に行き行って使っていたのかもしれない。

## 革マル派は小田(立花)氏の「過去30年にわたる活動歴」を暴露！

小田氏自身の証言通り、革マル派は小田氏を「立花」と繰り返し呼んでいる。同派出版社の「解放社」発行の「連合型労働運動に抗して」(2001年4月)にある「犯罪者の『要求書』への回答」なる論文(p.182)には、「立花(小田の党名)」「小田裕司としての党員たる立花は」「立花は自己自身の過去30年にわたる革マル派としての活動歴を胸に手をあてて考えよ」「小田としての立花の」「立花としての小田裕司へ」などと書かれている。当時、現職JR総連委員長であった小田氏は、革マル派から「30年にわたる活動歴」を暴露されたうえに、本間氏によれば、少なくとも2002年まではJR革マル派のカンパを集約していたという。これで「革マル派とは関係ない」と言われても、信用できるはずがないだろう。